

平成30年度事業評価

# 課別評価シート

【総務部 防災課】

[災害対策]

このシートでは、基本構想の実現に向けて、各課が目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《検討の視点》

課題の洗い出し

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度  
(事業実績の推移)
- 左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方  
(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付  
・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮  
・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
  - 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
  - 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
  - 新規事業の必要性
  - 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分
- 【方向性の類型】
- 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの
  - 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの
  - 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの
  - 終了確定 → 事業が既に終了した、または終了が確定しているもの

## 【災害対策】

1 中間アウトカムと計画事業の一覧	P.2
2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価	P.3
3 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価	P.6
4 中間アウトカム (C) に関する事業の実施状況と自己評価	P.8

# 1 中間アウトカムと計画事業の一覧

【総務部 防災課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。  
基本構想の【災害対策】の分野について、中間アウトカム及びそれに紐づく基本構想実施計画事業を示します。

基本構想実施計画	
中項目	<b>4-3 災害対策</b>
将来像	<b>備えと助け合いのある災害に強いまち</b>

**中間アウトカム (A)**  
区民が日頃から災害に備え、自ら適切な対策を講じている

基本構想実施計画事業	
① 地域防災訓練等	防災
② 区民防災組織の育成	防災
③ 避難所運営協議会運営支援	防災
④ 中高層共同住宅の支援	防災
耐震改修促進事業	地域整備
不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	再掲 地域整備

**中間アウトカム (B)**  
災害に強い都市整備が進んでいる

基本構想実施計画事業	
① 熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化	防災
無料公衆無線LANの整備	再掲 情報政策他
地区まちづくりの推進	再掲 地域整備
再開発事業の推進	再掲 地域整備
環境改善舗装	再掲 道路
耐震改修促進事業	再掲 地域整備
不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	地域整備
細街路の整備	地域整備
区道870号無電柱化事業	道路
シビックセンター改修	施設管理
文京区空家等対策事業	再掲 住環境他
橋梁アセットマネジメント整備	再掲 道路

**中間アウトカム (C)**  
各主体の協力体制が構築されている

基本構想実施計画事業	
① 地域防災訓練等	再掲 防災
② 区民防災組織の育成	再掲 防災
③ 避難所運営協議会運営支援	再掲 防災
④ 福祉避難所の整備・拡充及び妊産婦・乳児救護所の充実	防災他
⑤ 熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化	再掲 防災
⑥ 避難行動要支援者の支援	防災
⑦ 災害協定の拡充	防災
災害ボランティア体制の整備	福祉政策
災害時医療の確保	生活衛生

## 2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価

【総務部 防災課】

【災害対策】の中間アウトカム(A)に紐づく基本構想実施計画事業（防災課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

**中間アウトカム (A)** 区民が日頃から災害に備え、自ら適切な対策を講じている

### (1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名		事業目的				
①	地域防災訓練等		地域で防災訓練が活発に行われ、多くの区民等が参加している				
			H29	H30	H31	累計	3力年計画
主な取組	防災フェスタ	人	1,762			1,762	4,500
	避難所総合訓練	人	1,091			1,091	3,600
事業費(千円)			18,060				
行政コスト(千円)			32,911				
所要人員			2,116				
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	区で行う総合防災訓練においては、若い世代の参加が少ない傾向にあります。今後は町会・自治会への呼び掛けを更に強めるとともに、学校及びPTAと連携を図り、児童、生徒及び保護者の参加を促していきます。				

No.	事業名		事業目的				
②	区民防災組織の育成		区民主体の防災訓練等が活発に行われている				
			H29	H30	H31	累計	3力年計画
主な取組	区民防災組織等活動助成	件	44			44	165
	備蓄品購入費助成	件	14			14	120
事業費(千円)			2,985				
行政コスト(千円)			—				
所要人員			0.286				
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	備蓄品購入費については実施2年目ですが、まだ町会、マンション等に十分に浸透していません。そのため、区民防災組織活動助成金申請の際には備蓄品購入についても紹介し、活用を促します。さらに、区報やHP、地域で行う地域防災訓練等の様々な機会を捉えて、効果的な周知を行います。				

No.	事業名		事業目的				
③	避難所運営協議会運営支援		区民の避難所運営に関する能力が向上している				
			H29	H30	H31	累計	3力年計画
主な取組	避難所運営訓練	回	9			9	99
	防災士資格取得支援	人	8			8	24
事業費(千円)			2,778				
行政コスト(千円)			7,948				
所要人員			0.708				
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	避難所33か所中、協議会主催の避難所運営訓練は1年間で3分の1程度の実施にとどまっています。毎年度全ての避難所が訓練を実施することが望ましいため、訓練未実施の協議会には助成金の周知及び区で行う総合防災訓練等の見学を通し、意識の高揚を図り、訓練の実施につなげていきます。				

No.	事業名	事業目的				
④	中高層共同住宅の支援	災害発生時における中高層共同住宅の防災行動力が確保されている				
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	防災対策費用・エレベータ閉じ込め対策経費の助成	件	43		43	195
事業費(千円)			1,232			
行政コスト(千円)			2,959			
所要人員			0.236			
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	エレベーター閉じ込め対策経費について、20件が目標件数であるが10件にとどまっています。今後は、防災対策費用申請の際に併せて紹介することや大阪北部地震の事例を示すなどして引き続き区報、HP、地域で行う地域防災訓練等の様々な機会を周知を図り、申請件数の増加につなげていきます。			

No.	事業名	事業目的
他課	耐震改修促進事業	建物の耐震化が進んでいる
他課	不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	耐火性の高い建物への建て替えが進んでいる

## (2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

<b>中間アウトカム(A)</b>	<b>区民が日頃から災害に備え、自ら適切な対策を講じている</b>
課題等を有する計画事業の有無	有

事業名及び事業目的	地域防災訓練等 地域で防災訓練が活発に行われ、多くの区民等が参加している	方向性の類型	【改善・見直し】
課題及び方向性	区で行う総合防災訓練においては、若い世代の参加が少ない傾向にあります。今後は町会・自治会への呼び掛けを更に強めるとともに、学校及びPTAと連携を図り、児童、生徒及び保護者の参加を促していきます。		

事業名及び事業目的	区民防災組織の育成 区民主体の防災訓練等が活発に行われている	方向性の類型	【改善・見直し】
課題及び方向性	備蓄品購入費については実施2年目ですが、まだ町会、マンション等に十分に浸透していません。そのため、区民防災組織活動助成金申請の際には備蓄品購入についても紹介し、活用を促します。さらに、区報やHP、地域で行う地域防災訓練等の様々な機会を捉えて、効果的な周知を行います。		

事業名 及び 事業目的	避難所運営協議会運営支援	方向性 の類型	【改善・見直し】
	区民の避難所運営に関する能力が向上している		
課題及び 方向性	避難所33か所中、協議会主催の避難所運営訓練は1年間で3分の1程度の実施にとどまっています。毎年度全ての避難所が訓練を実施することが望ましいため、訓練未実施の協議会には助成金の周知及び区で行う総合防災訓練等の見学を通し、意識の高揚を図り、訓練の実施につなげていきます。		

事業名 及び 事業目的	中高層共同住宅の支援	方向性 の類型	【改善・見直し】
	災害発生時における中高層共同住宅の防災行動力が確保されている		
課題及び 方向性	エレベーター閉じ込め対策経費については、20件が目標件数ですが、10件にとどまっています。今後は、防災対策費用申請の際に併せて紹介することや、大阪北部地震の事例を示すなどして、引き続き、区報、HP、地域で行う地域防災訓練等の様々な機会周知を図り、申請件数の増加につなげていきます。		

### 3 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価

【総務部 防災課】

【災害対策】の中間アウトカム(B)に紐づく基本構想実施計画事業（防災課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

**中間アウトカム (B) 災害に強い都市整備が進んでいる**

#### (1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名		事業目的				
①	熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化		熊本地震を踏まえ、区の災害対策の充実・強化が図られている				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	熊本地震関連対策の検討	回	48			48	48
	土砂災害警戒区域等ハザードマップの作成	部	12,000			12,000	12,000
	事業費(千円)		1,149				
	行政コスト(千円)		—				
所要人員		0.348					
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載					

No.	事業名	事業目的
他課	無料公衆無線LANの整備	国内外からの観光客等が、インターネットを利用して災害時の情報を容易に取得することができる
他課	地区まちづくりの推進	市街地の防災性が向上している
他課	再開発事業の推進	市街地の防災性が向上している
他課	環境改善舗装	治水対策など、都市環境の改善が図られている
他課	耐震改修促進事業	建物の耐震化が進んでいる
他課	不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	耐火性の高い建物への建て替えが進んでいる
他課	細街路の整備	災害時の活動に配慮した道路拡幅整備が進んでいる
他課	区道870号無電柱化事業	災害時における緊急輸送道路の通行障害が防がれている
他課	シビックセンター改修	シビックセンターの防災拠点としての機能が向上している



No.	事業名	事業目的
他課	文京区空家等対策事業	管理不全な空家が減っている
他課	橋梁アセットマネジメント整備	橋梁の適切な予防保全が図られている

## (2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

<b>中間アウトカム (B)</b>	<b>災害に強い都市整備が進んでいる</b>
課題等を有する計画事業の有無	<b>有</b>

事業名 及び 事業目的	熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化	方向性 の類型	【終了確定】
	熊本地震を踏まえ、区の災害対策の充実・強化が図られている		
課題及び 方向性	8つの課題について、ワーキンググループ形式で検討を重ね、トラック協会と連携した物資の輸送体制構築や健康管理班による避難所巡回体制構築など、平成30年3月に最終報告書として取りまとめました。解決に至らなかった課題については、引き続き検討を行い、地域防災計画や職員防災行動マニュアルの修正に反映させていきます。		

## 4 中間アウトカム (C) に関する事業の実施状況と自己評価

【総務部 防災課】

【災害対策】の中間アウトカム(C)に紐づく基本構想実施計画事業（防災課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

**中間アウトカム (C)**      **各主体の協力体制が構築されている**

### (1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名	事業目的
①	地域防災訓練等	消防・警察・ライフライン等、関係機関との協力体制が強化されている

※「4-3 災害対策」の「中間アウトカム(A)」に実施状況が記載されます。

②	区民防災組織の育成	区民防災組織等と中高層マンション管理組合の連携が図られている
---	-----------	--------------------------------

※「4-3 災害対策」の「中間アウトカム(A)」に実施状況が記載されます。

③	避難所運営協議会運営支援	各主体の協力体制により避難所が運営されている
---	--------------	------------------------

※「4-3 災害対策」の「中間アウトカム(A)」に実施状況が記載されます。

④	福祉避難所の整備・拡充及び妊産婦・乳児救護所の充実	福祉避難所等について、要配慮者が円滑に利用できるよう、民間施設の特性を生かした運営体制の整備がされている
---	---------------------------	--

		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	福祉避難所の備蓄物資及び防災行政無線の整備	箇所	3			3
	妊産婦・乳児救護所の関係者との意見交換会	回	1			3
事業費(千円)		9,318				
行政コスト(千円)		12,112				
所要人員		0.370				
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載 福祉避難所の拡充に向けて区内福祉施設との交渉・調整を行っていくとともに、物資・機材等の整備を進めます。併せて妊産婦・乳児救護所の備蓄物資についても充実を図っていきます。				

⑤	熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化	熊本地震を踏まえ、区の災害対策の充実・強化が図られている
---	---------------------	------------------------------

※「4-3 災害対策」の「中間アウトカム(B)」に実施状況が記載されます。

No.	事業名	事業目的					
⑥	避難行動要支援者の支援	関係団体との連携により、避難行動要支援者に対する適切な支援体制が整備されている					
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	避難行動要支援者(同意方式)名簿の作成	件	1,921			1,921	6,000
	感震ブレーカーの配付	件	122			122	300
事業費(千円)			12,790				
行政コスト(千円)			19,169				
所要人員			0.840				
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	名簿の作成に伴い、外部提供の同意率の向上や個別計画の災害時の円滑活用へ向け、引き続き、制度周知を図る必要があります。				

No.	事業名	事業目的			
⑦	災害協定の拡充	自治体や公的団体、事業者等との実効性のある協力体制が整っている			
			H29	H30	H31
主な取組	新規に4団体(福祉避難所3団体、道路啓開1団体)と協定を締結するとともに、物資輸送について協定内容を見直しました。				
事業費(千円)					
行政コスト(千円)					
所要人員					
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	協定を締結している自治体等とは名簿の交換や防災フェスタへの出展などを通じて、顔の見える関係づくりに取り組んでいきます。また、事業者等とは協定締結の拡充に向けて交渉・調整を行っていきます。		

No.	事業名	事業目的
他課	災害ボランティア体制の整備	発災時に、適切に機能する災害ボランティア体制が構築されている
他課	災害時医療の確保	発災時に適切に機能する災害医療救護体制が整備されている

## (2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

<b>中間アウトカム (C)</b>	<b>各主体の協力体制が構築されている</b>	
課題等を有する計画事業の有無	<b>有</b>	

事業名 及び 事業目的	福祉避難所の整備・拡充及び妊産婦・乳児救護所の充実 福祉避難所等について、要配慮者が円滑に利用できるよう、民間施設の特性を生かした運営体制の整備がされている	方向性 の 類型	<b>【改善・見直し】</b>
課題及び 方向性	福祉避難所の拡充に向けて区内福祉施設との交渉・調整を行っていくとともに、物資・機材等の整備を進めます。併せて妊産婦・乳児救護所の備蓄物資についても充実を図っていきます。		

事業名 及び 事業目的	熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化 熊本地震を踏まえ、区の災害対策の充実・強化が図られている	方向性 の 類型	<b>【終了確定】</b>
課題及び 方向性	8つの課題について、ワーキンググループ形式で検討を重ね、トラック協会と連携した物資の輸送体制構築や健康管理班による避難所巡回体制構築など、平成30年3月に最終報告書として取りまとめました。解決に至らなかった課題については、引き続き検討を行い、地域防災計画や職員防災行動マニュアルの修正に反映させていきます。		

事業名 及び 事業目的	避難行動要支援者の支援 関係団体との連携により、避難行動要支援者に対する適切な支援体制が整備されている	方向性 の 類型	<b>【改善・見直し】</b>
課題及び 方向性	名簿の作成に伴い、外部提供の同意率の向上や個別計画の災害時の円滑活用へ向け、引き続き、制度周知を図る必要があります。		

事業名 及び 事業目的	災害協定の拡充 自治体や公的団体、事業者等との実効性のある協力体制が整っている	方向性 の 類型	<b>【拡充】</b>
課題及び 方向性	協定を締結している自治体等とは名簿の交換や防災フェスタへの出展などを通じて、顔の見える関係づくりに取り組んでいきます。また、事業者等とは協定締結の拡充に向けて交渉・調整を行っていきます。		

## 評価実施のチェックリスト

以下の各項目は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

### 【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

### 【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分